

令和3年度丹後・地域高規格道路推進協議会定期総会が開催されました

令和3年7月8日、京丹後市峰山地域公民館において丹後・地域高規格道路推進協議会（会長：中山京丹後市長）の令和3年度定期総会が新型コロナウイルス感染防止対策を実施して開催されました。

総会には、国土交通省近畿地方整備局福知山河川国道事務所や京都府建設交通部の幹部を来賓に迎え、協議会関係者と合わせて約50人が参加しました。

総会では、山陰近畿自動車道の延伸により、企業進出などのストック効果が表れている一方、現在事業中の大宮峰山道路より先線の事業化については目途が立っていないことから、協議会の総意を結集し、「現在事業中の大宮峰山道路を早期かつ着実に推進するための必要な予算措置を行うこと」、「大宮峰山インターチェンジから網野インターチェンジまでの早期事業化」、「府県境までの区間について、地元希望ルート帯に配慮し、ルート決定に必要な予算措置を行うことともに、早期にルート決定を行うこと」について要望活動を展開することを決議しました。

来賓あいさつでは、国土交通省近畿地方整備局福知山河川国道事務所の矢野所長が、大宮峰山道路の（仮）大宮峰山ICまでの事業をより一層進めてまいりますと話され、京都府建設交通部道路計画課の井上課長は、山陰近畿自動車道のミッシングリンクの解消は喫緊の課題であるので京都府として一日も早い全線開通に向けて努力していくとの西脇京都府知事の発言を紹介しました。

同協議会では、引き続き、会員を中心に地域の方々と連携して関係機関への要望活動を進めていきます。

